

令和7年度 ル・サンテリオン東郷 事業計画書

1. 施設理念

1. ご利用者の尊厳を守り、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
2. ご家族と地域の人々と協力し、高齢者が住み慣れた地域で安心して、日常生活が続けられるよう各種事業の連携を図り包括的に支援します。

2. 施設方針・テーマ

『つなぐ、つながる地域生活支援』

～施設機能を活かした地域への貢献～

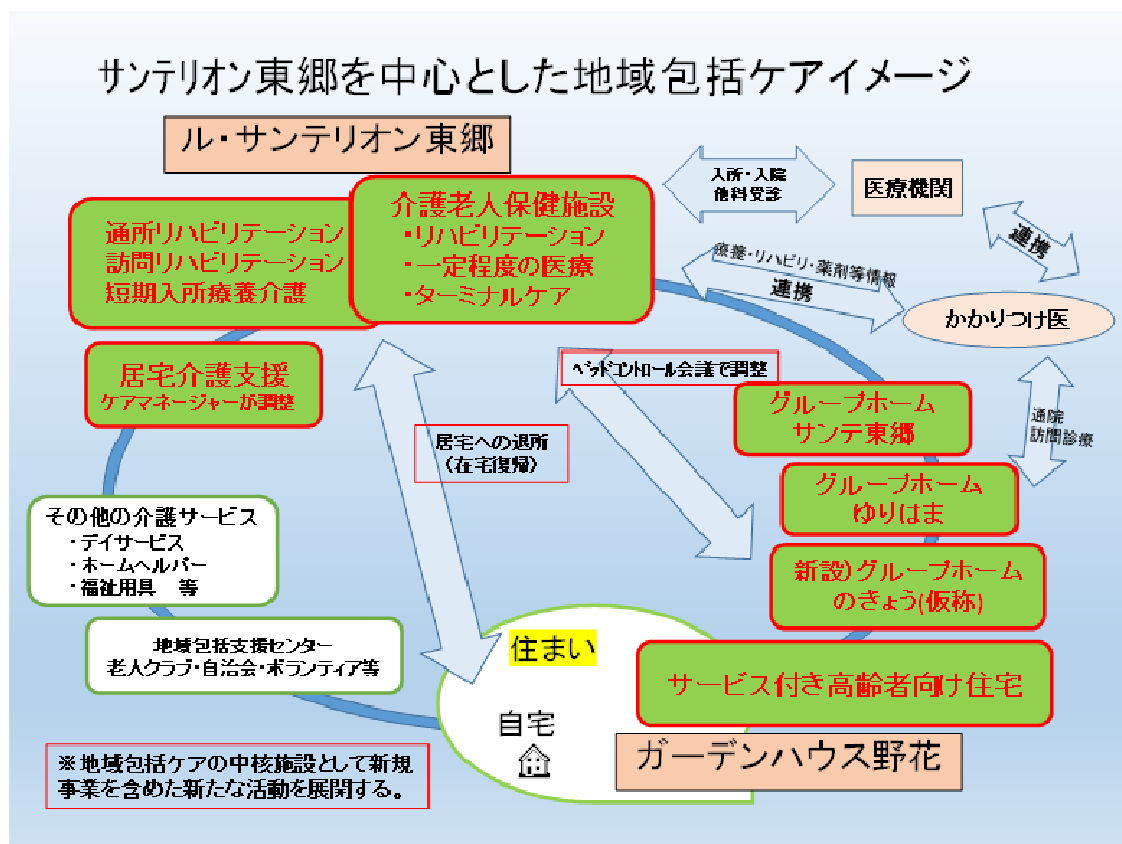
【湯梨浜町における地域包括ケアの一翼を担い、
良質な福祉サービスを展開します。】

3. 実施事業

(1)	介護老人保健施設 従来型	定員 47名
	介護老人保健施設 ユニット型	定員 18名
(2)	短期入所療養介護（従来型・ユニット型）	空床利用型
	介護予防短期入所療養介護（従来型・ユニット型）	空床利用型
(3)	通所リハビリテーション	
	介護予防通所リハビリテーション	定員 45名
(4)	認知症対応型共同生活介護（東郷）	定員 9名
	短期入所認知症対応型生活介護	空床利用型
(5)	認知症対応型共同生活介護（ゆりはま）	定員 18名
(6)	居宅介護支援事業所	
(7)	サービス付き高齢者向け住宅	定員 18名
(8)	訪問リハビリテーション	
	※R7年9月開設予定 グループホームのきょう（仮称）	定員 9名

4. 重点目標 （抱負・目標）

- ◆入所・通所・在宅支援により医療、介護、生活の支援を行える「湯梨浜町中規模多機能施設」として、各事業所のストロングポイントと役割を活かした連携取り組みを強化する。更に、「ベッドコントロール会議」を施設内連携のコア会議に位置付け、多事業・多職種参加により、連携の強化を図る。
- ◆施設・事業所間での適切な入退所やサービス利用の共有、各専門職がアセスメントやリハビリ等事業所を跨いだ取り組みが進められるようになってきた。引き続き、「食」をポイントに管理栄養士や歯科衛生士・言語聴覚士等の専門職を中心にケアの質向上にチームで取り組む。
- ◆地域へのアプローチを企画するプロジェクトチームを立ち上げ、地域住民や施設職員にとって「安心」「喜び」を感じることが出来る新しい取り組みを立案し、地域包括ケアの中核施設として湯梨浜町での新たな展開に繋げる。



(1) 人財育成と職場定着

- ①メンター制度活用による新任者の定着とリーダー育成
- ②Web 研修の受講促進管理と実践への展開
- ③長時間労働防止に向けた業務改善に取り組む
 - ・効果的な記録ソフトの活用とペーパーレス
 - ・勤務時間・業務内容の見直し

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

- ①リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的推進（加算対応）
- ②認知症に強い施設を目指すため、認知症関連研修への参加や認知症介護指導者養成研修の受講をする。

- ③老健での看取りケア実践と評価改善に取り組む
- (3) リスク対策（感染・安全・災害等）
 - ①転倒・喉詰め事故予防のPDCA 活動展開
 - ・ 部署間で現場評価実施し改善に取り組む
 - ②感染症予防と感染時対策の徹底
 - ・ 定期的シミュレーション研修の実施
 - ③実効性のある感染・防災のBCP の策定
 - ・ 「食事」に関する継続計画の見直し
- (4) 施設・設備整備
 - ①福祉用具の適正管理と計画更新
 - ②備品の計画更新と修繕の迅速な対応
 - ③デジタル技術を活用した設備導入に向けた検討
- (5) 地域連携・社会貢献
 - ①湯梨浜町地域包括ケアの一翼を担う施設として施設発信の新規取り組み企画開始及び施設機能を積極的に地域へ発信する。
 - ②ボランティアの受け入れを推進し、地域との繋がり強化を図る。
- (6) 経営管理
 - ①事業ごとのストロングポイントを明確にした稼働率向上プロジェクト取り組みの実施

◆介護老人保健施設	61.75 人/日
従来型 44.65 人/日（内ショート 0.95）	ユニット型 17.1 人/日
◆通所リハビリテーション	
（予防 6 人/日 介護 31 人/日）	37 人/日
◆認知症対応型共同生活介護（東郷）	8.9 人/日
◆認知症対応型共同生活介護（ゆりはま）	17.8 人/日
◆居宅介護支援事業所（予防:20 人/月 介護:60 人/月）	70.0 人/月
◆サービス付き高齢者向け住宅	17.5 人/日
◆訪問リハビリテーション	0.5 人/日
 - ②各事業における稼働安定へ向けた収支・加算の分析と対応策の検討実施評価の継続。
 - ・ 介護報酬改定に対応した加算の検討・取得
 - ③収入の減額に対応すべく、新規事業を含めた新たな収入源の確保及び支出の適正化に努める

5. 新規事業
なし